

## 関西大学 哲学倫理学専修のカリキュラム

|                     | 1年次   | 2年次                                     | 3年次                                    | 4年次               |
|---------------------|---|---|--|-------------------|
| 選択必修科目              | 学びの扉<br>知へのパスポート<br>知のナビゲーター  |   |  |                   |
| 必修科目                |   | 専修研究 ・<br>専修ゼミ ・                        | 専修研究 ・<br>専修ゼミ ・                       | 専修ゼミ V・VI<br>卒業論文 |
| 推奨する<br>選択・自由<br>科目 |   | 哲学概論 a/b<br>西洋古代・中世哲学 a/b<br>哲学特殊講義 a/b | 倫理学概論 a/b<br>西洋近代哲学 a/b<br>倫理学特殊講義 a/b |                   |
| その他の<br>選択・自由<br>科目 | ギリシャ語 ラテン語 学問とは何か 宗教学概論 a/b 日本思想論 a/b 仏教学概論 a/b<br>宗教文化論 a/b イスラーム思想研究 a/b キリスト教研究 a/b 美学・芸術学概論 a/b<br>西洋美術史 a/b 日本及東洋美術史 a/b 映像芸術論 a/b 現代芸術論 a/b |   |  |                   |

「選択科目・自由科目」は哲学倫理学専修に関係の深い科目を載せています。なお、「選択科目・自由科目」は科目によって配当年次が異なりますので、詳細については『大学要覧』で確認して下さい。

「必修科目」「選択・自由科目」についてはp. 4を参照のこと。

「哲学」という言葉は、ギリシア語の philosophia（知 sophia を愛する philo）を語源とします。「愛する」は「求める」「恋い焦がれる」「あこがれる」というニュアンスであり、つまりは自分がどうしても問わずにはいられない問いの答えを探し求めて見出そうとする営みが哲学にほかなりません。哲学倫理学専修は、（ひとによっては子どもの頃から）気にかかっている問題に、あるいは、大学で学ぶなかで発見した問題に、自分なりの答えを出そうとする人たちを応援するトレーニングの場です。

\*

あなたが抱える疑問や謎は、ひょっとすると、過去の哲学の歴史のなかですでに先人たちが取り組んできた問題かもしれません。逆に、先人の思想を学ぶなかで、あなたが無意識のうちに抱いていた疑問や謎がきちんとした課題となって見つかるかもしれません。哲学倫理学専修の講義や演習は、一方で、これまでの哲学倫理学の蓄積された成果をみなさんに伝えるとともに、他方で、みなさんひとりひとりが自分の頭で考え、研究できるようになる手助けをします。

\*

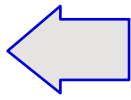
「哲学倫理学専修研究 I・II」（2年次）では、哲学と倫理学の歴史に現われた重要な考えを教え、「哲学倫理学専修ゼミ I・II」（2年次）では、哲学と倫理学の世界で古典的な価値をもったテキストを取り上げ、それをじっくり読むことで、いちばん大切な思想の読解と表現の力を身につけます。「哲学倫理学専修研究 III・IV」（3年次）では、主題をしぼった内容で哲学と倫理学の思索を深め、「哲学倫理学専修ゼミ III・IV」（3年次）では、各自が自分の研究テーマを見きわめ、教員のアドバイスを受けながら本格的に研究を展開してゆきます。そして「哲学倫理学専修ゼミ V・VI」（4年次）では、4年間の総仕上げともいべき卒業論文制作に全力で取り組みます。これまで先輩方が提出した卒業論文のタイトルについては、この冊子の 42-43 ページをごらんください。オーソドックスな思想の研究、現代に特有な社会問題、身近な出来事にまつわる疑問など、自分の知的関心領域を拡張しながら、さまざまな卒業研究に取り組むことができます。

\*

哲学倫理学専修で鍛え上げた思考力・多角的な物の見方で、情報・金融・製造・報道・アパレル・食品等さまざまな業界で、また教育や公務員として、多くの先輩が活躍しています。

\*

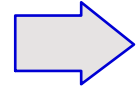
われわれ専任スタッフは、哲学倫理学専修での学びを通して、自分自身の考えたいユニークなテーマをどんどん開拓し、物事を多面的に捉える柔軟な思考力、自分の見解を明確に主張する論理的構成員力などを身につけてほしいと期待しています。



読解力、論理的思考力、論文作成、発表能力を伸ばす

哲学倫理学専修の3年間

哲学・倫理学の知識を身につける



2年



修行中です...  
ラクダの時代  
(ニーチェ)



凡例

必修科目

選択科目

**専修ゼミ** ・  
哲学・倫理学の文献を論理をたどって読み解く訓練の場です。歴史的な背景を調べ、著者の見解をめぐって意見を交換し、その成果をレポートにまとめあげます。

**専修研究** ・  
論理学の初歩、古代から現代にかけての哲学・倫理学の重要な思想を問題や概念ごとに整理して、5人のスタッフがリレー講義します。

概論講義：哲学・倫理学の重要思想を歴史的、人物別に講義します。  
哲学概論  
倫理学概論  
西洋古代・中世哲学  
西洋近代哲学

3年



ゆくてに光が  
ともった

天にも昇る  
思索!



**専修ゼミ** ・  
論文の書き方を学び、自分の研究テーマを選んで、調べ、発表し、論文を書く力を身につけます。

**哲学演習  
倫理学演習**  
特定の哲学者の文献を素材に、理解力を伸ばします。

**専修研究** ・  
哲学・倫理学の特定の領域や問題をとりあげて深く論じます。

特殊講義：担当者の現在の研究テーマや特定の哲学者の入門講義などを自由に展開します  
哲学特殊講義  
倫理学特殊講義

4年

**専修ゼミ** ・  
卒業論文の進め方について教員の指導を受け、調べて考えた成果を発表、質疑応答を通じて磨き上げます。

**卒業論文**  
大学生活の集大成。一生の記念碑を打ち立てましょう。



自分の頭で考える  
独立独歩のひとへ  
...  
獅子の時代

Q&A

Q: 哲学の本をあまり読んでいたことがありませんが、大丈夫ですか？ A: 欧米のように、高校に哲学の授業がない日本では、むしろ当然でしょう。専修ゼミ・専修研究でしっかり訓練をしますから、大丈夫です。

Q: 哲学はむずかしいのでは？ A: 自明に思われていることをあらためて考えなおすのが哲学ですから、常識にひたきっているかぎりではむずかしく思われるかもしれませんが、でも、「世の中はどのようにこうなっていて、これ以外ではないのですか」これは子ども向けの小説の一節です。これはまさに哲学の問いですね。哲学には、こういうふう子ども問いをそのまま温めて、しかし(子どもと違って)論理的にきっちりと問いつめるという面があります。

Q: 哲学と倫理学の両方を学ぶのですか？ A: 優れた哲学者の多くは倫理学にも関心をもっています。というのも、倫理学とは、自明に思われている世の中のきまりや道徳をあらためて考えなおすという意味で哲学ですから。

Q: 哲学は科学ですか？ A: 科学ということばを「実証科学」(世界に存在するモノやデキゴトと一致していることを真理と考え、それを探究する学問)という意味でとるなら、哲学は実証科学ではありません。むしろ、哲学はそういう真理が成り立つ条件やそれを真理と考える背景を考える学問です。たとえば、実験や社会調査に立脚する心理学の研究は実証科学ですが、「心とは何か」「心は存在するか」は哲学の問題です。

Q: 哲学をするには外国語の勉強が必要ですか？ A: 本気で研究するなら、その哲学者を原語で読まなくてはなりません。大学院生や学部の3・4年生が集まって原語で読む読書会もしています。でも、一般に、言葉に対する敏感さをもってほしいですね。今の日本語で昔のことを表す助動詞は「た」ですが、もともと完了の助動詞ですね。それなら、日本語の時間の感覚はどうなっているんだろう？ ほら、もう、君は哲学の問いをしているのです。